

男で○、女で○、共同作業で○。

6月23日(金)から29日(木)まで
男女共同参画週間です

～私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみませんか？～

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」です。

男性、女性それぞれ特性があり、その特性を活かした活躍の場はあると思います。一方で必要以上に性別を理由にいずれかを排除したり、偏ったり、区別したりしていることはないでしょうか。

「男女共同参画社会」を実現するためには町民のみなさん一人ひとりの取り組みが必要です。みなさんもこれを機会に、ほんのちょっとしたことでもいいですので、考えてみてはどうでしょうか。

町では男女共同参画推進協議会を設置し、地域における男女共同参加について意見交換をしています。鹿児島県が実施したアンケートに、「学校現場や法律制度では平等であるといった回答が多いが、『しきたり、家庭内、地域社会、職場』では、男女不平等を感じている方が多い」といったものがありました。それを解決するには、「子どものうちから男女の人権について意識づけをしていくことが必要」といった意見が会議では出されました。

鹿児島県男女共同参画地域推進員に次の2名の方が委嘱されています。

活動の目的は、地域における男女共同参画の普及啓発や他の自治体の情報収集などです。



田中 晴美さん (上建)

肝付町地域創生戦略策定委員、内之浦銀河アリーナ運営協議会地域住民代表などの任につかれ、地域の住民代表として活躍されています。



有島 恵子さん (西横間)

肝付町スポーツ推進員、鹿児島県スポーツ推進員女性部副会長など地域の女性のスポーツにおける活動に貢献されています。

訂正とお詫び

広報きもつき5月号

● 地域の話題P5の「討論会での提言」において、記載に誤りがありました。正しくは次の通りです。

【誤】片野田取締役

【正】片野田教授

【誤】中村教授

【正】中村取締役

● P17の「平成29年度人間ドックのご案内」において上から4番目のドック名に誤りがありました。正しくは次の通りです。

【誤】がんドック

【正】脳ドック

訂正してお詫びします。